

平成18年度事業報告書

I. 本年度における事業は、概ね平成18年度事業計画に基づいて実施し本会の目的達成に努力しました。

貸借対照表は、下記のとおりです。

摘 要	資産額	負債額	正味財産額
一 般 会 計	892,468,388 円	236,761,419 円	655,706,969 円
駐車場管理委託業務 契約特別会計	18,254,784 円	18,254,784 円	0 円

正味財産増減計算書は、下記のとおりです。

摘 要	経常(外)収益額	経常(外)費用額	当期一般正味財産増減額
一 般 会 計	1,361,014,268 円	1,385,201,562 円	△24,187,294 円
駐車場管理委託業務 契約特別会計	57,657,265 円	57,657,265 円	0 円

財産目録は、下記のとおりです。

摘 要	資産額	負債額	正味財産額
一 般 会 計	892,468,388 円	236,761,419 円	655,706,969 円
駐車場管理委託業務 契約特別会計	18,254,784 円	18,254,784 円	0 円

収支計算書（一般会計）は、下記のとおりです。

摘 要	収入額	支出額	収支差額
I 事業活動収支の部	1,361,014,268 円	1,395,670,123 円	△34,655,855 円
II 投資活動収支の部	185,727,216 円	190,415,533 円	△4,688,317 円
III 財務活動収支の部	0 円	0 円	0 円
当期収支差額			△39,344,172 円

収支計算書（駐車場管理委託業務契約特別会計）は、下記のとおりです。

摘 要	収入額	支出額	収支差額
I 事業活動収支の部	57,657,265 円	57,657,265 円	0 円
II 投資活動収支の部	0 円	0 円	0 円
III 財務活動収支の部	0 円	0 円	0 円
当期収支差額			0 円

II. 事業の内容

◎大学病院支援事業等経費【事業総額 17,947,095 円】

1. 医学の研究に関する奨励及び助成：事業額 6,500,000 円

本会設立の主要目的の一つである医学の研究に関する奨励及び助成には、従来からその目的遂行に努力してまいりました。

平成18年度は、前年度同様医学研究費を北海道大学病院に助成しました。

2. 患者の慰安及び支援：事業額 9,157,095 円

北海道大学病院の患者の慰安及び支援を図ることも本会設立の主要目的の一つです。本年度は下記のとおり実施しましたが、特に平成18年度は、外来ホール等環境整備助成の一つである外来患者の待合ホールでの憩いとくつろぎのための「大型テレビ等購入費」及び「写真展示用パネル購入費」また、入院患者等の院内施設案内等のために「院内インフォメーションビデオ作成等経費」の特別助成を実施いたしました。

- (イ) 外来ホール等環境整備助成
- (ロ) 温室管理経費助成
- (ハ) 温室花鉢植栽経費助成
- (ニ) 外来植木鉢借上管理経費助成
- (ホ) 患者慰安写真展経費助成
- (ヘ) 患者慰安花卉展経費助成
- (ト) ボランティア経費助成
- (チ) ふれあいコンサート及び看護の日等行事実施経費助成

- (リ) 外来アートフラワー維持経費助成
- (ヌ) 患者慰安淡水魚等維持経費
- (ル) 精神科神経科病棟生け花及びファミリーハウス盛花等経費
- (ヲ) 入院患者慰安用品贈呈経費
- (ワ) BGM放送に使用するCDの経費
- (カ) 精神科神経科入院患者小遣い管理経費

3. 職員及び学生の学事研修に対する奨励：事業額 2,290,000 円

北海道大学医学部、歯学部及び北海道大学病院の学生並びに職員の学事研修に対して下記のとおり助成しましたが、特に平成18年度は、「全国大学病院輸血部会議経費」の特別助成を実施いたしました。

- (イ) 教育奨励費を助成
- (ロ) 看護師研修会発表原稿収録集経費の一部を助成
- (ハ) 全国大学病院輸血部会議経費の助成

◎患者、職員等必需品供給事業経費【事業総額 1,228,222,796 円】

北海道大学病院の患者、職員、学生及び見舞人等の皆様の利便を図るため利用者ニーズに合わせた安価で良品質の品揃えや、日常必要とするものを取り揃える等、その事業を下記のとおり実施しました。

(イ) 販売業務

患者、職員及び学生等の利便性を考慮し、本年度においては、夜間利用者の利便性を考慮し、夜間10時までの営業時間の延長を行い、又、あわせて販売商品の充実等を行って利用者の皆様の利便性・サービス向上を図りました。

また、サービスコーナー・薬店においては、患者サービスの観点から診療科より要望が出された医療用用具・用品等を十分な在庫を行い、適正価格で販売できるように努力し、また、専任の薬剤師を配置し薬の相談を受け付け、サービスの向上を図っています。

(ロ) 食堂業務

患者、職員及び学生等の利便性を考慮し、献立の充実及び食材の質の向上に努力するとともに、土・日・祝日の営業を充実させ、見舞客や患者、職員の歓談の場となるようサービス向上を図りました。

また、会議用弁当の提供やオードブルの提供は、量・質ともに充実を行いサービス向上を図りました。

本会直営で行っている歯科診療センターの食堂は、毎月、特別メニューの提供や職員・学生へのサービス向上のため、低廉でボリュームのある定食等の充実を図りました。

(ハ) 薬品業務

北海道大学病院の門前薬局として、院外処方箋により調剤業務と服薬指導を行うとともに、提供薬剤等の種類を拡大し、さらに薬剤師の研修等に積極的に参加させ、北海道大学病院を訪れる外来患者の利便を図るよう努力しました。

(ニ) 用達業務

入院患者へのサービス向上のため、貸付テレビ及び洗濯機・乾燥機等のメンテナンスを充実させるとともにサービスコーナーにおいて下記の業務を行い利便を図りました。

また、使用済テレビカード5枚(5,000円)につき500円を還元するサービスや患者サービスの向上のため土曜日営業を継続実施しております。

- (1) 在院家族へ寝具貸付 (2) 特別病室の電話貸付 (3) プリペイドカード使用によるテレビ・洗濯機及び乾燥機の貸付 (4) コールドロッカー貸付 (5) 公衆電話 (6) 電報受付

(ホ) 福利厚生施設として、本会で直接経営することが困難な下記の業務を委託し、業者に対して指導監督に努め利用者の利便性を図りました。

- (1) 理容業務 (2) 美容業務 (3) 乳製品販売業務 (4) 歯科材料販売業務 (5) 洗濯物取扱業務

(へ) ファミリーハウス

ファミリーハウスの管理業務を実施し、ファミリーハウスを利用する付添家族に居心地の良さや利用しやすい環境維持に努めました。

◎駐車場管理委託業務契約特別会計：事業総額 57,657,265 円

北海道大学病院と「駐車場管理業務」の直接委託契約を締結し、病院構内の安全管理及び環境保全に尽くしました。

なお、平成18年度分の収益金額12,374,003円は、北海道大学へ納付しました。